

## 環境産業委員会協議会 (委員長 小沼秀朗)

### (1) 市内産業振興ビジョンについて

お茶をはじめとした農業、商業、工業などの産業について、掛川市が、現在どの程度の市場規模であるのか。市内産業振興を数字上から分析し、今後力を入れるべき分野の課題、目標を明確にするため、話し合いました。

近隣市と比較した掛川市の状況、委員会で行政視察した先進地の取り組みを交えながら、活発な意見交換となりました。

とりわけ、農業では後継者育成の問題や耕作放棄地対策、商業では掛川IC周辺への大型商業施設誘致の可能性の検討、工業では中小企業への支援拡充など、今後の掛川市を見据えた意見が出されたので、今後、委員会で継続的に検討していくこととなりました。

### (2) 土木インフラ等の今後の展望について

高度経済成長期に建設された多くの土木インフラ等は、建設から長期間が経過しており、施設機能の継続には、修繕工事を含む多額の維持管理費が必要となってきています。市内の現状を確認し、今年度は、特別委員会でも検討している「公共施設マネジメント推進」とも関連するテーマとして取り上げ、話し合いました。

今後も土木インフラの管理は必須であり、このままでは、管理費が増加することから、スクラップの市内事例についても意見交換しました。しかし、管理建築物系公共施設同様の統廃合や複合化が難しいことから、いかに効率良く管理費を抑制できるかを考えなければなりません。合わせて、市民要望の事業化(ビルド)については、緊急性・重要性・コストなどを「見える化」し、市民の合意形成を基本に身の丈に合った事業を進めることが重要、との意見が出ました。

## 文教厚生委員会協議会 (委員長 松本 均)

### (1) 子育て世代に魅力あるまちづくりについて

当局から説明を受け各委員から質疑の後、資料として近隣他市との政策の比較表や、11月の委員会で視察した埼玉県や千葉県での事例を参考とし、話し合いを行いました。議員からは掛川市の子育てについて進んだ施策に取り組んでいるが、多くの施策を市民は知らずにいる、分かりやすくチラシや「マママップ」の作製などの、PRをしたらどうかなどの意見が出ました。また毎年開催する議会報告会について、若者や女性の声をもっと聴く事や、開催の日時を日曜日や土曜日・昼間の時間に変えて、子育てパパ・ママさんにも出席しやすいような環境づくりと、呼びかけやPRなどの検討案も出ました。

### (2) 第7期介護保険事業計画の方針及び敬老会のあり方について

当局から介護保険の説明を受けた後、現在の第6期について委員から質疑を行い、続いて来年度からの第7期についての質疑を分けて行いました。その後、第7期介護保険に対して、委員の勉強を兼ねて話し合いました。委員から他市と比較して掛川市の介護判定基準についての質問や、今後の地域のあり方としては、地域包括ケアシステム「ふくしあ」の活用が大切である事などが話題として上がりました。また現在78歳を敬老会の基準としているが、今後について対象者の増加やお祝い金の額等についてなど、他市との比較をしながら維持をしたらどうかとの意見が出ました。